

2025年度 矢向あけぼの保育園だより



なつまつりご協力ありがとうございました。暑さを少しでも避けるために、早めの開催にしましたが、その予測を上回る速さで暑い日がやってきました。今年度は催し物をする会場を分散し、休憩会場を友の会館にして使用することができ昨年度よりは、暑さ対策をしながら開催することができました。卒園児の子どもたち・鶴見園の職員・菅野先生と大勢の方々が参加していただき大変もりあがりました。なつまつり終了後、プール組み立てで現保護者・OB 保護者の方のご協力あって、7月上旬からプールでの水あそびがスタートしました。保護者の方々には、いつも様々なところで支えていただき本当にありがとうございます。

【鶴見区に要望してきました】

鶴見区子育て教育懇談会という会を通して、毎年この時期に『子どもたちの全面発達を保障するための鶴見区共同要求書』を提出し懇談を行っています。保育園・幼稚園・小学校・中学校・学童の関係者、子育てに関する様々な団体が集まって区役所の方に直接現状をお伝えもできる、良い機会となっています。

今年度は、保育園の要望として鶴見区での状況を訴えさせていただきました。得に外国籍の方々が多く利用するようになってきた分、利用者、受け入れる園が困らないような制度・援助をして欲しい事や、矢向一丁目公園から出た川の土手の柵はロープで、公園から出てすぐの反対側は、深い側溝があり危ない箇所として対応しています。子どもの散歩道で利用するときは、保育士はかなり注意をしながら歩くようにしています。そこを、安全に往き来できるよう柵を設置してほしい、鶴見区全体の公園にトイレや時計を設置して欲しいなど、子どもたちが安全に過ごせるように、少しでも改善していただきたいと声をあげています。河川敷は、国の管轄なので難しいようですが、区役所からも伝えていきたいといただきました。

保育園での現状も、様々な事が求められていますが、それに対応した補助や制度になっていません。小学校や中学校、学童も厳しい状況

があると感じました。国は、少子化対策だと様々な事を打ち出していますが、受け皿になるところが貧弱であっては何もならないと感じました。まずは、子どもを出産できる医療現場が少なくなっています。今日のニュースでは、保育園廃業が3年連続、増加傾向で保育士不足も深刻化しているとのこと。

今回は、鶴見区への懇談ですが、これから様々な団体を通しながら少しでも子どもたちが安心して育っていけるよう訴えていきたいと思えます。子どもたちが安心して暮らせる世の中をつくっていく事が、大人の責任であると思います。秋には、国や市に向けての署名運動があります。保護者の方々にも、子どもたちの為に力をお借りしたいと思います。その時は、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【らくらく連絡網プラスに変更のお願い】

園との連絡網として、らくらく連絡網のアプリを使用しています。今年の3月に、らくらく連絡網プラスに移行されました。以前から入っていた方は、自動的に更新されませんので、移行手続きをされなかった方は、もう一度再登録する必要があります。わからない方は、職員にお声掛けしてください。

園長 飯田 雅美